

2025年4月

第175号

ぱれっと



㈱北日本ベストサポート
TEL 018-883-1888

「秋田県人口減少でどうなる」

ぱれっとは、令和4年6月号(141号)で「人口減少を憂う」というタイトルで一度、人口減がもたらす問題点について記載したことがある。

2014年8月に元岩手県知事を務めた増田寛也氏(現日本郵政社長)が「地方消滅」と題するレポートをまとめた書籍を出版した。地方の人口減、東京一極集中の問題点などに言及し、地方の人口減に歯止めをかけようと呼びかけたものである。

それ以降、約10年が経過し3月22日の秋田魁新報の朝刊で「平成の大合併20年」「旧町村部、人口減目立つ」(中学校なくなる地域も)と県内の人口減の状況について旧市町村別の人口動向について詳細が発表された。

これによると2005年3月22日の平成の大合併から20年経過し秋田県では旧市町村別に人口の減少動向が記載されているが、合併以前の市町村は69市町村であった。その、旧市町村別で20年後の人口動向を見てみると人口が増加した市町村は一つも存在しない。10%以内の減少率にとどまっているのが秋田市・本荘市・大曲市・天王町・大潟村の5市町村のみであり、逆に阿仁町 38.3%、鳥海町 35.5%のほか上小阿仁村・鳥海町・藤里村・若美町・森吉町・東由利町など 30%以上の人口減となっている町村が 10か町村にも及んでおり、旧町村で著しい人口減が進んでいる。そのため、市町村立小・中義務教育学校数も427校存在していたものが現在では273校に減少し、若美町・雄物川町・仙南村等では学校統合で中学校がなくなってしまった。

秋田県の人口は1956年135万人をピークに減少し続け2025年(現在)90万人を割り込み、人口減少率は9年連続、高齢化率も3年連続全国 NO.1 となっており、更に、2050年には56万人程度まで減少すると推計されている。人口の増減は出生者数と死亡者数による「自然減」と高校・大学進学・就職などにより県外に転出する「社会減」がある。秋田県の場合その双方共に大きな減少要因となっているが、基本的には秋田県を如何に魅力ある県とするかが大きな課題となっている。特に、女性が秋田県に魅力を感じなければ人口の改善を図ることができない。女性が喜んで秋田に残りたいと思えるような施策を打ち出すことである。秋田で就職し結婚し、喜んで子育てができる環境を早急に整える必要がある。安心して子育てができるように男性も他人事として捉えることなく一緒に子育てに力をいれ、行政もそのための支援を十分に行える施策を講ずべきである。増田寛也氏は22日秋田県を訪れ講演し、「東京に追いつけ追い越せ」という価値観を転換し「若者や女性に選ばれる街づくり」「安全安心、豊かな文化を享受できる豊かな生活が地方でも十分できる」「ないものねだりでなく、有るもの探し、地方に誇りを持とう」と訴えた。

努力を習慣に

何が大切だといっても、人生のできるだけ早い日に、この自主的努力を習慣的に身につけるほど大切なことはあるまい。

人生の勝負は普通考えられているようにただ頭脳のみ勝負ではなく、むしろ自主的努力を貫徹する意志力と実行力にあるように思われる。

しくじりながら、これに教えられて突進するようになれば、もはやいわゆる失敗などというものはなく、失敗そのものさえが建設への手助けとなるのである。

努力の種を蒔く

人生では、まず目的に向かって努力という種を蒔くことだ。

この努力という種を蒔きさえすれば、きっとよい実が実り、よい収穫があるのだ。

近視的に雑然たる現実を見ると、時にはそうではないように思われることもあるが、長い目で見れば、やはり世界はそうなっているのである。

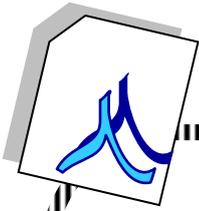
神仏のものさし

「極悪の我に春の日惜しみなく」……これは、処刑を待つ死刑囚の句だそうだが、なんとあたたかい句であろう。

死刑囚というからには、恐ろしい罪をあえて犯した人なのであろうが、その同じ人が、これだけの句を作る気持ちになれるのである。

この句は、「この極悪の罪人の私にも、うららかな春の日が惜しみなく与えられている。ああなんともったいなく、ありがたいことであろう」というような気持ちを述べた感謝と懺悔の句であろう。

この人は、形式的な世俗のものさしで測れば極悪の人であろうが、しかし、何もかも見通しの神仏のものさしで測れば、わけてもかわいい慈悲の子であろう。



ハンス・クリスチャン・アンデルセン (デンマークの童話作家)

- | | |
|-----------------|---|
| 1805年4月2日 | デンマーク、フュン島オーデンセで靴職人の父の下に生まれる。 |
| 1828年 | 劇場の支配人ヨナス・コリンがデンマーク王の侍従でハンスは王からの学費援助で大学に入学、文献学と哲学を学んだ。 |
| 1829年 | 「ホルメン運河からアマゲル島東端まで徒歩旅行する。同旅行記をドイツ語で自費出版する。 |
| 1833年4月～1834年8月 | ヨーロッパ旅行。「アグネーテと人魚」を書く。 |
| 1835年 | 最初の小説、「即興詩人」を出版する。同年よりコペンハーゲンで「童話集」を発表も不評。 |
| 1843年1月 | パリ訪問。この頃は文名が揚がっていたため著名な作家達と交流する。 |
| 1875年8月4日 | 1872年ベッドから落ちて怪我をし、それが回復しないまま、自宅で死去した。
亡くなった時フレゼリク王太子や各国の大使、子供から年配者までコペンハーゲン聖母教会の葬式に並び大騒ぎとなった。
代表作として、「マッチ売りの少女」「みにくいアヒルの子」「裸の王様」など多数。 |

オススメの *BOOK*



「記者と官僚」(特ダネの極意、情報操作の流儀)

対談 佐藤 優 (作家・元外務省主任分析官) VS

西村 陽一 (元朝日新聞編集局長・ジャーナリスト)

本書は、人間関係術を駆使した情報(インテリジュンス)収集の達人佐藤優、海外取材の修羅場を経験しながら記者のあるべき姿を追求してきたジャーナリストの西村洋一の対談集。

それぞれの立場の相違があるものの、それぞれの立場で最新・最強のニュース収集に努めてきた。ふたりの対談はそれぞれの立場の相違があるものの、素早く真実の情報収集に全力を挙げて取り組んできた両氏の体験談。

モスクワの日本大使館員として1991年8月にクーデターで軟禁されたゴルバチョフ大統領の生存を世界に先駆けてスクープした極秘情報をどのようにして入手したかなど生々しいエピソードが満載されている。



意外と知らない表示義務と罰則

新年度に入り、初心者マークを見かける機会が多くなったのではないのでしょうか。今回は運転中に見かける「運転者標識」についてまとめてみました。



【初心運転者標識】

対象者：普通自動車免許を所持しており、免許取得後1年未満のドライバー。
表示義務：表示を怠った場合は道路交通法違反で以下の罰則がある。
・4,000円の罰金
・行政処分点数1点



【高齢運転者標識】

対象者：普通自動車免許を所持しており、70歳以上で、加齢に伴う身体機能の低下が運転に影響を及ぼすおそれがあるドライバー
表示義務：表示しなくても罰則はないが、努力義務として表示を促されている。



2011年1月まで使われた高齢者運転標識。

「もみじマーク」と呼ばれた。2025年3月時点ではこのデザインも使用可能。



【身体障害者標識】

対象者：普通自動車免許を所持しており、肢体不自由であることを理由に運転免許に条件を与えられているドライバー。
表示義務：表示しなくても罰則はないが、努力義務として表示を促されている。



【国際シンボルマーク】

俗称は「車いすマーク」。身体障害者に限らず、障害を持つ人全般を表すピクトグラムである。個人の車に表示しても道路交通法上の効力はない。



【聴覚障害者マーク】

対象者：普通自動車免許を所持しており、政令で定める程度の聴覚障害のあることを理由に運転免許に条件を与えられているドライバー
表示義務：表示を怠った場合は道路交通法違反で以下の罰則がある。
・4,000円の罰金
・行政処分点数1点

今一度車に表示されているマークの意味をよく理解して、全てのドライバーが無事故となる世の中になるといいですね。

【編集後記】

4月は新入生や新入社員が大きな希望や夢をふくらませ旅立つ季節だ。春の桜前線も押し寄せてくる。冬のあいだ閉じこもっていたような生活から、あらゆるものの扉が一斉に開き飛び立つ感じがする季節だ。

今回の「平澤興 一日一言」のように飛び立つ新鮮な気持ちを失うことなく、「努力」を積み重ねて悔いのない人生を送って欲しい。戦いの極意として「焦らず・慌てず・侮らず」一歩一歩前進して欲しい。